

裁判員模擬裁判の取組

～分かりやすい裁判員裁判に向けて～



現在、各地の裁判所では、裁判員制度の施行に向けて、裁判員裁判の模擬裁判を実施しています。

昨年11月29日から12月1日の3日間にわたり東京地方裁判所で実施された模擬裁判に裁判員役として参加していただいた村木満さん（保険会社勤務）と川村有理子さん（百貨店勤務）に、裁判員模擬裁判についての感想を伺いました。



【東京地方裁判所での裁判員模擬裁判の様子】

－模擬裁判に裁判員役として参加していただいた感想をお聞かせください。

川村さん 裁判員の仕事は、普段の仕事とはまったく違ったもので、とても新鮮な感じがしました。

村木さん 評議の場などでは、裁判官が全部パッパッと仕切るのかなというイメージがありましたが、実際には素人の質問に対しても裁判官が嫌がらずに答えてくれるなど、意見を言いやすい雰囲気でした。



村木さん

－証人尋問や検察官、弁護士等の法廷でのやりとりについては、どのように感じられましたか。

村木さん 検察官側、弁護士側がいずれ

もパソコンのプレゼンテーション・ソフトを使うなど審理を分かりやすくするための工夫をされていたと思います。ただし、時折早口になる場面もあり、分かりにくいところもありました。もう少し素人6人が聞いているという意識を持っていただきたいと思いました。

川村さん 証拠調べのとき、被害者のけがの状況が写された写真を見ました。このような写真については、普通の人は見慣れていないのでショックを受けさせないような配慮が必要ではないかと思いました。

－評議については、どのように感じられましたか。

川村さん 裁判長の配慮でみなさん満遍なく発言できたと思います。法律用

語についても、分かりやすく解説してもらえました。

村木さん 的はずれなことを言っても裁判長がそれを遮るようなことはなく議論しやすい雰囲気でした。

— 今回の模擬裁判は、平日の日中に実施されましたが、お仕事は、どのように調整されたのですか。

川村さん 私は会社には3日間出勤しませんでした。突然明日から3日間裁判



川村さん

所に来なさいと言われてたわけではなく、1か月半前に依頼がありましたので、業務を調整しました。実際の裁判員裁判でも、同程度の期間を

設けてもらえたら、仕事の調整はある程度できると思います。

村木さん 事前に、裁判の期間が3日間であると教えてもらっていたので、仕事の調整ができました。前もって見込み時間を教えてもらうことは、とても大事なことだと思います。

— 裁判員制度について、どのような印象を持たれましたか。

川村さん 有罪か無罪かを判断することは重たい仕事ですが、今回、実際に体験してみて、裁判員として参加する価値があるなと思いました。

村木さん 実際に裁判員として呼び出されたら、国民の義務なので参加するつもりです。また、職場の部下にも、今回の体験を伝えたいと思います。

このように裁判員模擬裁判では、参加された方から、裁判の審理や評議の進め方等について率直な御意見をいただいています。

裁判所では、引き続き、より分かりやすく、迅速な裁判の実現に向けて、様々な取組を行っていきたいと考えています。

各地の裁判所における裁判員模擬裁判の様子



福岡



大阪



奈良



鹿児島